

アデノイド口蓋扁桃摘出術（術後 I C U入室）を受ける患者さん

（入院診療計画書）

患者ID:

性別:

生年月日:

病棟:

病室:

患者氏名:

病名:

症状:

入院日:

経過	入院日	手術日		
	1900/1/0	1900/1/1		
		手術前		手術後
患者目標	入院して手術の準備ができる	手術前の準備ができる		手術後に少しずつ食事や安静度を拡大できる
治療・処置	・ 外来で、麻酔科と耳鼻科の診察があります ・ 夜間酸素濃度を測定する器械をつけます(退院まで)	・ ()時 坐薬を挿入します ・ ()時 お薬を飲みます		・ 手術後、痛み止めや水分補給の点滴・抗菌剤の注射をします ・ 呼吸状態が安定しない場合は、酸素を投与したり、鼻または口から呼吸が安定するように管を入れます
活動	病棟内、自由です	坐薬を挿入またはお薬を飲んだ後はふらつくことがあります。危ないのでベッド上で過ごして下さい。		・ ベット上で安静です ・ 点滴やモニターなどが外れないように注意してください(場合によっては抑制をすることがあります)
食事	お昼より病院の食事が食べられます	・ 午前に手術の方：朝食はありません ・ 午後に手術の方：朝食は軽食になります ・ ()時のお茶()mlが手術前最後です ・ ミルク又は母乳を飲んでいる方は、 ミルク又は母乳を()時まで()ml 糖水又はお茶が()時まで()mlが最後です		・ 呼吸状態が安定するまで、食事などはとれません ・ 呼吸が落ち着いたら食べたり飲んだりを再開します
清潔	シャワーに入れます	手術の日なのでシャワーも体拭きもありません		
説明・指導	☐ 病棟内の説明をします ☐ 手術の時間をお知らせします ☐ 薬剤部からお薬の説明をします ☐ 手術同意書・麻酔承諾書を看護師に渡してください	☐ お時間までに病室にお越しください 午前、手術室に入室の方 ： 8時 午後、手術室に入室の方 ： 11時		☐ 手術後、医師からお話があります
「栄養管理/褥瘡対策」要判断	☐ 特別な栄養管理の必要性	「手術/検査日程」要入力	実施有無： 有 日程：	
	☐ 褥瘡対策に関する計画の必要性		内容：	
メモ：				

アデノイド口蓋扁桃摘出術（術後 I C U入室）を受ける患者さん

（入院診療計画書）

患者ID:

性別:

生年月日:

病棟:

病室:

患者氏名:

病名:

症状:

入院日:

経過	術後 1 ～ 2 日目（ICU退室まで）	術後 3 ～ 6 日目（一般病棟）	術後 7 日目（退院日）
	1900/1/2 ～ 1900/1/3	1900/1/4 ～ 1900/1/7	1900/1/8
患者目標	・ 出血など合併症がない ・ 痛みが落ち着いている	・ 出血など合併症がない ・ 痛みが落ち着いている	家での過ごし方がわかる
治療 ・ 処置	・ 術後2日目の昼まで、痛み止め、水分補給の点滴をします（食事が取れていたら点滴を外します） ・ 点滴が外れた後は、内服 / 座薬の痛み止めを使用します	・ 手術後2日目以降で、食事がとれていたら点滴を外します ・ 点滴を外した後は、内服/座薬の痛み止めを使用します	退院前に診察があります
活動	ベット上安静です	・ 病棟内、自由です ・ 点滴が抜けないように注意してください	
食事	・ 全身状態が安定していたら飲水・食事をとる事ができます ・ 食事は流動食から食べ始めて、適宜食事形態を変更します	・ 飲み込むのが大変なのでお粥から食べ始め、適宜食事形態を変更していきます ・ 食欲はあっても痛みのためにご飯が食べられないことがあります。その時は、食事の前に痛み止めのお薬を点滴か内服することでご飯を食べることが出来ます	退院後1週間は固いもの（せんべい）、刺激物、揚げ物は控えて下さい
清潔	喉や鼻から出血する可能性があるのでシャワーに入れません が、毎日体を拭きます	・ 手術後2日目までは出血の可能性がありますシャワーには入れません ・ 手術後3日目からはシャワーに入る事ができます	
説明 ・ 指導			☐ 次回外来日をお知らせします ☐ 運動、水泳の開始などは医師に聞いて下さい

主担当医氏名:

印

主担当医以外の担当者:

注)上記の内容・期間は現時点で考えられるものであり、今後状態の変化に応じて変わることが考えられます。

年

月

日

上記の説明を受けました。

患者・家族サイン:

(続柄)